

# 令和2年度 都立高入試 配点について

都立高入試の予想得点の算出にあたりまして、弊社が予想いたしました配点をお知らせいたします。

## 国語 —記述問題の配点について—

### ④〔問5〕200字課題作文

●配点…10点

●採点方法

- ・記述問題が200字作文1問だけであるため、採点は複数の先生が行い、互いにチェックする形になると思われます。「〇〇について××が書かれている。」のような具体的な基準を各校が定め、段階的に点数を設定していると想定されます。

〈内容〉については下記のような配点がされていると思われます。

- ・自分の意見、主張があるか…4点
- ・筆者の主張を踏まえているか…3点
- ・具体的な体験や見聞があるか…3点

これらの項目について不備がある場合は、各配点の範囲で減点されると思われます。ただし、全体として論旨に一貫性のないものは2点減点、本文の抜き出しや要約になっているものは不可(0点)となると思われます。

- ・さらに、下記のような形式面で、減点されると思われます。

〈表記〉・句読点の誤り、誤字、脱字、衍字(=余計な字)などがあるもの…1~2点減点

- ・最後の一文が途中で終わっているもの…1点減点

- ・101字以上150字以内のもの…2点減点
- ・100字以内または201字以上のもの…不可(0点)

〈言葉の特徴やきまり〉

常体と敬体の不統一／書き言葉としてふさわしくない／語句の意味や用法・文法上の誤りがある 等  
…1~2点減点

## 数学 —記述問題の配点について—

●配点…各7点

●採点方法

- ・模範例についての予想配点です。各学校によって違いはありますが、部分点があると思われます。

### ②〔問2〕

四角形ABGHにおいて、  
 $AD = 2\pi a$ ,  $EH = 2\pi b$  より、  
 $AH = AD + EH = 2\pi a + 2\pi b = 2\pi(a + b)$  ……(1)  
(1)は、四角形ABGHが側面となる円柱の底面の円周と等しいことから、底面の円の半径は、 $(a + b)$  cmと表すことができる。  
よって、 $Z = \pi(a + b)^2 h$  ……(2)  
一方、 $W = X + Y = \pi a^2 h + \pi b^2 h$  ……(3)  
(2), (3)より、 $Z - W = \pi(a + b)^2 h - (\pi a^2 h + \pi b^2 h)$   
 $= \pi(a^2 + 2ab + b^2)h - \pi a^2 h - \pi b^2 h$   
 $= \pi a^2 h + 2\pi abh + \pi b^2 h - \pi a^2 h - \pi b^2 h$   
 $= 2\pi abh$   
したがって、 $Z - W = 2\pi abh$

- ・Z, Wのうち、1つが求められていれば2点、2つが求められていれば4点と思われます。Z, Wは順不同でもよいと思われます。なお、ZとWの求め方にはそれぞれ適宜、部分点が与えられるものと思われます。
- ・ $Z - W = 2\pi abh$ が成り立つことが的確に示されていれば3点と思われます。
- ・誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

### ④〔問2〕①

$\triangle ABP$ と $\triangle EDQ$ において、  
仮定から、 $\angle ABP = \angle ADQ = 90^\circ$   
また、 $\angle EDQ$ は $\angle ADQ$ の外角で $90^\circ$ だから、  
 $\angle ABP = \angle EDQ = 90^\circ$  ……(1)  
仮定から、 $AB = AD$ ,  $AD = ED$   
よって、 $AB = ED$  ……(2)  
また、 $BP = CB - CP$ ,  $DQ = CD - CQ$   
仮定から、 $CB = CD$ ,  $CP = CQ$ より、  
 $BP = DQ$  ……(3)  
(1), (2), (3)より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、  
 $\triangle ABP \equiv \triangle EDQ$

- ・(1), (2), (3)のうち、1つが書けていれば2点、2つが書けていれば4点、3つが書けていれば6点になると思われます。
- ・(1), (2), (3)は順不同でもよいと思われます。
- ・「2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい」は、「2辺挟角相等」などでもよいと思われます。
- ・誤字・脱字が1か所以上あると、1点減点になると思われます。

## 英語 一条件英作文の配点について一

●配点…12点

●採点方法

- ・各学校によって違いはありますが、文法面とともに内容面を重視して採点すると思われます。
- ・今年も、空所の前後につながるように英文3文を記入してメール文を完成させる形式が出題されています。今年の内容は「(より)環境にやさしい生活を送るためにできる1つのこと」であり、具体的内容を1つ示したあと、そのことを始めた理由や関連する内容等を示す文章を続ける解答となると思われます。  
時制面では現在形だけでなく、過去形や現在完了等、幅広い時制の文が認められると思われます。
- ・学校によっては、つづり字などの表記上の誤りがあれば、各文1～3点の減点があると思われます。ただし、同じ誤りを何回も繰り返したような場合は、全体で何点の減点というような配慮がなされると思われます。

## 社会 一記述問題の配点について一

●配点…各5点

●採点方法

- ③〔問3〕〔建設された理由〕について、問題文中に「自然災害に着目し、ⅠとⅡの資料から読み取れる、新東名が現在の位置に建設された理由」とあるので、Ⅰの文章とⅡの略地図を見ると、Ⅰの文章からは、東名高速道路では「高波や津波などによる通行止めが発生」するということが、Ⅱの略地図からは、新東名高速道路が東名高速道路よりも内陸側を通っていることが読み取れます。ここから、新東名高速道路は、高波や津波の影響を受けないようにするために内陸に建設されたということがわかります。また、〔建設された効果〕について、問題文中に「平均交通量と10km以上の渋滞回数に着目し、」とあるので、Ⅲの表の平均交通量に着目すると、新東名高速道路の開通前には73.2千台/日であった交通量が、開通後には東名高速道路と新東名高速道路の合計で82.4千台/日へと増加していることが読み取れます。一方、10km以上の渋滞回数に着目すると、新東名高速道路の開通前には227回発生していた渋滞が、開通後には東名高速道路と新東名高速道路の合計でも13回しか発生していないことが読み取れます。ここから、全体の交通量は増加しているものの、新東名高速道路の開通により交通が分散され、その結果渋滞が減少していると考えられます。以上を踏まえて、〔建設された理由〕として「内陸部は高波や津波の影響を受けにくいから」ということを簡潔にまとめ、加えて〔建設された効果〕として「全体の交通量が増加した一方で、交通が分散されたことで、渋滞回数が減少した」ということを簡潔にまとめていけば正答となると思われます。
- ・⑥〔問3〕問題文中に「Ⅰ～Ⅲの資料を活用し、政府開発援助（ODA）事業予算と二国間政府開発援助贈与の内訳に着目して」とあるので、政府開発援助（ODA）事業予算の内訳についてⅡの表を見ると、1997年度から2018年度にかけて政府貸付の割合が増加し、贈与の割合が減少していることがわかります。また、二国間政府開発援助贈与の内訳についてⅢの表を見ると、1997年度から2018年度にかけて無償資金協力の割合が減少し、技術協力の割合が増加していることがわかります。また、Ⅰの文章からは、日本の開発協力の目的として、2015年に「自助努力を後押しし、将来における自立的発展を目指す」ことが定められたことがわかり、この「自助努力」「自立的発展」は、Ⅲの表の技術協力の割合の増加に関連すると考えられます。これらのことから、政府開発援助（ODA）の変化として、「自助努力を後押しし、自立的発展を目指すために、政府開発援助（ODA）事業予算に占める政府貸付の割合を増やし（または贈与の割合を減らし）、二国間政府開発援助贈与に占める技術協力の割合を増やしている」ということを、簡潔にまとめていけば正答となると思われます。

## 理科 一記述問題並びに作図問題の配点について一

●配点…③〔問3〕：4点、④〔問4〕：4点、⑥〔問1〕：2点

●採点方法

- ・③〔問3〕＜結果2＞より、装置に対して太陽の光が垂直に当たるように調整した装置Ⅰの方が、より温まりやすいことがわかります。これは、太陽の光が垂直により近い角度で物体に当たると、同じ面積において受ける太陽の光の量が増えるからです。また、南中高度が高いと、太陽の光は地面に対してより垂直に近い角度で当たるようになります。よって「太陽の光の当たる角度が地面に対して垂直に近い」ということに触れながら「同じ面積に受ける太陽の光の量が多いから」ということが書かれていけば、正答になると思われます。
- ・④〔問4〕柔毛は小腸の内壁に無数にある、突起のような形をしたつくりです。この柔毛は小腸の内壁の表面積を増やし、養分の吸収を担う小腸が養分と触れる機会を増やしています。よって、「柔毛」という語句を用

いて「柔毛で覆われていることで小腸の内側の壁の表面積が大きくなる」ということと「効率よく物質を吸収することができる」ということが書かれていれば、正答になると思われます。

- ・ ⑥〔問1〕 <結果1>の表の、電熱線Aに関する『回路に流れる電流の大きさ〔A〕』と『電熱線Aの両端に加わる電圧の大きさ〔V〕』の関係を方眼上に●で正しく記入し（(1.0, 0.17), (2.0, 0.33), (3.0, 0.50), (4.0, 0.67), (5.0, 0.83) の5点に●を記入）、原点から記入した●をもとにして、方眼の端まで達する直線となるグラフがかかれていれば、正答であると思われます。